



森 憲一

Kenichi Mori

略歴(簡略版)

京都府亀岡市出身。臨床経験26年目。急性期病院リハビリ技師長、クリニック副院長、神戸大学 医学部 保健学科 臨地 教授を経て、現(株)リハ・コンディショニングセンター 代表取締役。

7種の認定理学療法士(運動器・脳卒中・徒手・臨床教育・予防介護・地域・管理運営)と国際公認フェルデンクライス® プラクティショナー資格を保有。アジアを中心に国内外で医療・介護・スポーツ・芸能の領域における教育活動を実施。これまで、理学療法・作業療法・言語聴覚・柔整・鍼灸の大学及び養成校16校の授業を担当し、現在3校の教壇に立つ。主なテーマは、脳卒中・神経筋疾患(神経難病)・運動器疾患・スポーツ・障がい者スポーツ・摂食嚥下・骨格筋・Women's&Men's Health・職場のマネジメントと職員教育 等であり、15本の執筆・投稿・監修・Web教育システムへの投稿を行っている。

略歴(詳細)

職歴

1998年4月	田原病院 リハビリテーション科 入職
2004年4月～2019年10月まで	大阪回生病院 リハビリテーションセンター 入職(2013年より 同センター技師長)
2013年4月～2020年3月まで	神戸大学医学部 保健学科 臨地 准教授
2015年8月～2021年5月まで	(公社)大阪府理学療法士会 生涯学習センター部長
組織改編により 2018年より	(一社)大阪府理学療法士会 生涯学習センター 生涯学習局 研修部長
2016年3月～現在	(公社)日本理学療法士協会 代議員
2019年7月	第31回大阪府理学療法学会 学術大会 および 第1回生涯学習研修集会 準備委員長
2019年11月～2022年10月まで	クリニック 副院長
2021年4月～2023年3月まで	神戸大学医学部 保健学科 臨地教授
2022年12月～現在	株式会社 リハ・コンディショニングセンター 代表取締役

著書・論文・監修・Web 教育システム(学会発表割愛)

- 2003年 7月 『股関節・大腿』アスレチックリハビリテーション(部分執筆), 小柳磨穀(編), 嵯峨野書院
- 2003年 11月 『摂食・嚥下障害に対する徒手理学療法を試み』徒手理学療法(ジャーナル)第3巻 第1号
- 2003年 12月 『摂食・嚥下障害に対する理学療法』日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌 第7巻 2号
- 2009年 10月 関節病態運動学 33『顎関節の病態運動学と理学療法』理学療法 第26巻 9号 メディカルプレス
- 2012年 6月 『立位・歩行時の股関節伸展をつくる』ブラッシュアップ理学療法(部分執筆), 福井勉(編):三輪書店
- 2013年 3月 特集～理学療法士教育の課題と展望～『臨床現場における新人教育』大阪府理学療法士会誌 Vol.41
- 2014年 7月 特集『股関節疾患における臨床的評価方法の工夫』理学療法ジャーナル(PTジャーナル) 第48巻7号 医学書院
- 2015年 6月 『脳膿瘍開頭術を施行した右片麻痺の治療展開～Model of Bobath Clinical Practice を用いた Clinical Reasoning～』ボバースジャーナル 第38号 第1号(通巻93号)
- 2015年 7月 月刊「salsa(サルサ)」『教えてモリ先生』指導・監修
- 2016年 1月 『嚥下障害に対するリハビリテーション』これまでの10年と これからの10年～理学療法の発展と課題と夢 理学療法ジャーナル(PTジャーナル) 第50巻 第1号 医学書院
- 2016年 5月 『リハビリテーション現場におけるマネジメント』Web 研修システム PT ラーニング
- 2017年 5月 『摂食・嚥下のリハビリテーション』Web 研修システム PT ラーニング
- 2021年 6月 特別寄稿『摂食嚥下障害に対するリハビリテーション』理学療法京都 No.50
- 2021年 9月 『脳血管疾患・神経筋疾患のリハビリテーション』リハビリテーション医学(部分執筆)
上月正博・高橋仁美(編):(株)メジカルビュー社
- 2022年 7月 特別講演『骨格筋から臨床の理(ことわり)を考える』香川県理学療法士会学会誌 第27号
- 2024年 3月 中間管理職の悩み 第9回『スペシャリストであるスタッフの働き方をどのように考え進めればいいのか?』理学療法ジャーナル(PTジャーナル)第58巻 第3号 医学書院 (執筆中)

海外への講義・講演・指導

- 2018年 南京医科大学・南京金陵医療フォーラム『摂食・嚥下障害に対する評価と治療』講師(中国 南京)
- 2019年 ベトナム タンニン省・ベンチェ省 現地セラピスト指導
- 2019年 深セン南人民病院・第二人民病院主催『呼吸と嚥下障害の治療コース』講師(中国 深セン)
- 2019年 中国リハビリテーション研究所設立大会・日中リハビリテーション科学技術交流会
『疼痛に対する(臨床家としての)評価と治療の実際』講師(中国 北京)
- 2020年 嚥下障害肺リハセミナー『摂食嚥下の運動療法(PT向け・ST向け 2項目)』講師(中国 深セン Web)
- 2020年 第1回 上海国際高齢者リハビリテーションフォーラム
『リハビリテーションにおける臨床教育とマネジメント』『摂食・嚥下障害に対する運動療法』講師(中国 上海 Web)
- 2020年 環太平洋社主催 日中脳卒中リハセミナー『脳卒中の評価と治療(床上動作)』講師(中国 北京 Web)
- 2021年 環太平洋社主催 PTmaster『Women's & Men's Health Rehabilitation』講師(中国 北京 Web)
- 2022年 井陘鉞区 国際人材プロジェクトマッチングと交流・投資促進会『脳卒中の評価と治療』(中国 河北省 Web)

現職者・他職種への講義・講演・座長 等

- 2004年 (公社)全国老人保健施設協会 全国研修会『摂食・嚥下のリハビリテーション』講師
- 2007年 大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科 臨床実習指導者会議(現職者・実習指導者向け)
基調講演『摂食・嚥下のリハビリテーション』講師
- 2007年より2015年まで (公社)日本理学療法士協会主催 現職者講習会『呼吸理学療法の実際～基礎編～』講師
- 2009年 大阪府保険医協会病院部主催 メディカルスタッフ検討会『ベッドサイドでの嚥下訓練』講師

2013年 (公社)大阪府理学療法士会 大阪市北ブロック研修会『脳血管障害の起居・移動動作の問題点と治療』講師

2014年より2016年まで (公社)日本理学療法士協会主催 現職者講習会『成人片麻痺の評価と治療』講師

2016年 (公社)大阪府理学療法士会 大阪市南ブロック研修会

『床上動作を用いた脳血管疾患患者に対する上肢と歩行の治療』講師

2016年より2022年まで (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『摂食・嚥下障害に対する理学療法の理論と実際』講師

2016年より2022年まで (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『ウィメンズ・メンズヘルス理学療法の理論と実際』講師

2016年より継続 (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『運動器疾患に対する理学療法の理論と実際』講師

2017年より2019年まで (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『新人教育指導者育成研修会』講師

2017年 日本神経理学療法学会 参加型フォーラム special interest groups『筋緊張』および『動作分析』指定発言

2018年 日本通所ケア研究会スキルアップセミナー『摂食・嚥下障害の方へのアプローチ(東京・名古屋・福岡)』講師

2018年 (公社)大阪府理学療法士会三島ブロック研修会 『脳卒中の評価と治療～寝返り・起き上がり～』講師

2018年 (公社)大阪府理学療法士会堺市ブロック研修会 『脳卒中の評価と治療～坐位活動と立ち上がり動作～』講師

2018年 第6回運動器理学療法学会 徒手理学療法症例報告 演題座長

2019年 日本通所ケア研究会『PT・OT・ST・Ns・介護職が知っておきたい摂食・嚥下障害セミナー(福岡)』講師

2019年2021年まで(公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『障がい者スポーツ及びスポーツ理学療法の実際』講師

2019年より2022年まで(公社)大阪府理学療法士会主催講習会

『フェルデンクライスの考えに基づいた体験による治療者の身体づくりと治療の創造』講師

2019年 (公社)沖縄県理学療法士会主催 理学療法士講習会『摂食・嚥下障害に対する評価と治療』講師

2019年より2022年まで(公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『脳血管疾患に対する評価と治療(床上動作)』講師

2019年より2022年まで(公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『腰部・骨盤・股関節に対する徒手理学療法』講師

2019年 第17回 日本神経理学療法学会 脳損傷(予後予測)演題座長

2019年 第7回 日本運動器理学療法学会 徒手理学療法 演題座長

2019年 淀川理学療法士会『フェルデンクライスの考えに基づいた 体験による治療者の身体づくりと治療の創造』講師

2019年 第8回 日本理学療法教育学会学術大会・第2回 理学療法管理部門研究会 組織力強化のための

“人材育成”と“働き方改革”『プレイングマネージャーとしてのジレンマ』講師

2020年 日本通所ケア研究会主催『摂食・嚥下障害の方へのアプローチ(東京・名古屋)』講師

2020年 山口県社会福祉協議会 福祉施設看護保健担当職員研修『摂食・嚥下障がい患者に対する評価と技術』講師

2020年より2021年まで (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『スポーツ障害に対する理学療法の実際』講師

2020年より2021年まで (公社)大阪府理学療法士会主催 講習会『障がい者スポーツにおける理学療法の実際』講師

2021年 (一社)京都府理学療法士会主催 『摂食嚥下障害に対するリハビリテーション』講師

2021年 第60回 近畿理学療法学会 運動器疾患 一般演題座長

2022年 第6回 日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会 一般演題座長

2022年 第27回 香川県理学療法士学会 特別講演『骨格筋から臨床の理(ことわり)を考える』講師

2022年 第34回 大阪府理学療法学会 運動器疾患 一般演題座長

2022年 第20回 日本神経理学療法学会 ポスター演題 脳損傷 生活期 座長

2022年から現在まで(公社)日本理学療法士協会 臨床認定カリキュラム教育 講師

脳卒中 「運動機能障害」「歩行再建」「上肢トレーニング」

スポーツ 「パフォーマンス向上」「スポーツ選手に対する徒手療法」

徒手理学療法 「顎関節」

2023年 (一社)大阪府理学療法士会 生涯学習センター主催 理学療法士講習会『脳血管疾患に対する理論と実際』講師

2023年 (一社)大阪府理学療法士会 生涯学習センター主催 理学療法士講習会『運動器疾患に対する理論と実際』講師

2023年 日本通所ケア研究会主催『起居動作の分析と誘導技術』講師

養成校への講義(全て非常勤講師として)

2001年より2003年まで	阪奈中央リハビリテーション専門学校	理学療法学科『基礎運動学』
2004年	奈良リハビリテーション専門学校	理学療法学科『特別講演(体幹機能の評価と治療)』
2004年より2016年まで	大阪医療福祉専門学校	理学療法学科『高次脳機能評価・運動器治療学』
2004年より2007年まで	大阪医専	理学療法士学科『基礎運動学』
2007年	大阪ハイテクノロジー専門学校	柔道整復師学科『運動学』
2007年より2011年まで	平成医療学園	柔道整復師学科『臨床実技(筋性疼痛症候に対する治療手技)』
2007年より2014年まで	大阪医療福祉専門学校	作業療法学科『作業療法特論(脳卒中 上肢)』
2009年より2021年まで	関西医療学園専門学校	柔道整復師学科『臨床実技(筋性疼痛症候に対する治療手技)』
2010年より2011年まで	平成医療学園	鍼灸師科『リハビリテーション医学』
2011年より2014年まで	平成リハビリテーション専門学校	理学療法学科『運動療法学(脳卒中)』
2012年より2013年まで	行岡保健衛生学園	理学療法学科『特別講義 徒手療法(筋性疼痛症候に対する治療手技)』
2012年より2014年まで	大阪医療福祉専門学校	作業療法学科『地域医療論』
2014年より2017年まで	京都医健専門学校	作業療法学科『作業療法学』『作業療法研究法』
2015年より2017年まで	大阪医療福祉専門学校	作業療法学科『総合実習』
2015年	平成リハビリテーション専門学校	理学療法学科『動作分析』
2015年より2020年まで	近畿リハビリテーション学院	理学療法学科『リハビリテーション特論』
2016年より2021年まで	平成リハビリテーション専門学校	理学療法学科『中枢神経疾患 特別講義』
2016年より2017年まで	大和大学	理学療法学科『中枢神経障害理学療法学』
2017年より継続	履正社国際医療スポーツ専門学校	理学療法学科『臨床運動学』『理学療法技術論』
2017年より2020年まで	大阪医療福祉専門学校	理学療法学科『特別講義 中枢神経疾患』
2019年	神戸国際大学	理学療法学科『脳血管疾患患者に対する評価と治療～床上動作～』
2021年より継続	宝塚医療大学	柔道整復科『軟部組織損傷学』『徒手療法学実習』
2022年より継続	清恵会第二医療専門学院	理学療法士学科『ウィメンズ&メンズヘルスリハビリテーション』

免許及び資格・実績

1998年 5月	理学療法士 免許
2014年 3月	徒手療法認定理学療法士 及び 脳卒中認定理学療法士
2014年 10月	地域包括推進リーダー
2015年 9月	介護予防推進リーダー
2017年 4月	地域理学療法 及び 臨床教育 認定理学療法士
2019年 4月	管理運営 認定理学療法士
2019年 4月	フェルデンクライス プラクティショナー免許
2020年 4月	運動器 及び 介護予防 認定理学療法士

以上